

令和元年12月6日

財政局財政課

令和2年度予算編成過程の公開について

本市では、平成20年度予算編成から予算編成過程の公開に取り組み、市政の透明性の向上と市民の予算編成への参画を図っております。

令和2年度予算については、12月6日（金）から1月6日（月）まで予算要求状況を公表し、市民意見を受け付けます。

I 令和2年度予算編成の基本的な考え方（予算編成方針）

「元気発進！北九州プラン」に基づき「人にやさしく元気な街づくり」を進めてきた結果、本市の「暮らしやすさ」が高く評価され、人や投資の流れにも好循環の兆しが見えつつある。

こうした状況のもと、一層の経済の活性化による産業の集積、雇用の創出を促進し、この好循環を確実なものとする必要がある。

同時に、2020年東アジア文化都市や東京オリンピック・パラリンピックの開催をにぎわいの創出、観光振興に着実につなげ、市民がまちの魅力やにぎわいを実感できる契機にしなければならない。

また、少子高齢化の進展、人口構造の変化を背景とした労働力不足、地域の交通事情の変化、土地の低未利用化など今日的な課題への対応も必要である。

本市の未来を切り拓き、健全で持続可能な財政基盤を確立していくため、RPAなどを活用した「しごと改革」など、行財政改革を立ち止まることなく着実に進めていく。

以上のことを踏まえ、予算編成にあたっては、特に次の事項に留意する。

1 予算編成の基本方針

(1) 人や投資の流れを加速させる経済成長戦略の実行

「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「北九州都市圏域連携中枢都市圏ビジョン」などに基づく施策を積極的に推進し、本市の強みであるものづくりや物流拠点化、環境未来都市の取組を強化することで、産業の集積や新たな雇用の場の創出を図り、経済を活性化すること。

特に、今後の本市の飛躍のエンジンとなることが期待される北九州空港の滑走路延伸、航空貨物拠点化、路線誘致を精力的に進めること。

国際展開も含めた環境ビジネスの推進や、洋上風力発電関連産業及びロボット開

発・普及の拠点化を図り、企業誘致はもとより U・I ターン、第二新卒を含めた若者の地元就職支援に取り組むこと。

本市のイメージアップにつながる情報を戦略的に発信し、若者の声を施策に適切に反映させながら、若者や女性の定着のための環境整備を行うことで本市への定住・移住策を促進し、人口の社会動態プラスにつなげ、にぎわいの創出や都市の活性化を図ること。

(2) 文化・スポーツの振興によるまちのにぎわいの創出

令和 2 年度は、「2020 年東アジア文化都市」の開催や、「東京オリンピック・パラリンピック2020」事前キャンプなど、国内外から本市へ人を呼び込み、まちのにぎわいを生む好機となる年である。

メディア芸術の創造拠点化など、本市ブランドの国内外への発信やシビックプライドの醸成、東アジアとの交流促進及び本市の文化資源を活用した観光・産業の振興等に取り組み、文化芸術の力で都市の活性化を図ること。

また、様々な国際スポーツ大会の誘致や開催等を通じて、本市のスポーツの振興はもとより、スポーツによるまちの活性化を図ること。

文化芸術やスポーツの振興を通じ、本市の明るいイメージを発信することで、まちのにぎわいを創出し、市民のシビックプライドの醸成につなげていくこと。

併せて、新たに導入する宿泊税を活用した観光資源の魅力向上及び情報発信、旅行者の受入環境の充実などの取組により、宿泊者及びインバウンドの増加や本市への評価の向上を図るとともに、市民がその効果を実感できるよう取組みを推進すること。

(3) 安全・安心のまちづくり ～今日的な行政課題への対応～

後期高齢者の増加など少子高齢化の一層の進展や、生産年齢人口の減少など全国的な人口構造の変化を背景とした、様々な行政課題に的確に対応していかなければならない。

公共交通再編や高齢者の運転免許返納等の動きをふまえた持続可能な「地域交通の確保」、高齢者世帯などが活用していた土地の低未利用化（都市のスポンジ化）に対応した「空き地・空き家対策」、労働力不足を背景とした「外国人人材の活用」やそれに伴う「外国人市民が安心して暮らせる環境づくり」など、今日的な課題に部局横断的に対応し、取組を推進すること。

また、近年、激甚化する豪雨災害などに備え、防災・減災対策に取り組むとともに、公共施設や社会インフラの老朽化対策等を計画的に進めること。

同時に、日本で最も犯罪の少ない街を目指した取組を進め、安全・安心で質の高い暮らしのできるまちづくりを推進すること。

(4) 住みたい、住み続けたい街の実現～「元気発進！北九州」プランの総仕上げ～

年齢や性別を問わず、誰もが住みよい街の実現に向け、これまで取り組んできた「元気発進！北九州」プランに掲げる各種の政策を振り返り、人にやさしく元気な街づくりの総仕上げを行うこと。

特に、しごと改革や ICT の活用などによる多様な働き方、若者や子育て世代、シニア層など、それぞれのライフスタイルに対する意識の変化をとらえ、雇用、住宅、子育て・教育、都市生活などあらゆる分野の施策をもう一段磨き上げ、本市が「働きたい」、「住みたい」、「暮らしたい」まちとして、選択され続けるよう取組を推進すること。

また、本市の未来を担う子どもたちが、本市に対する誇りや愛着を持って健やかに成長できるよう、ハードソフトの両面における教育・子育て環境の整備に努めること。同時に、人生 100 年時代を迎え、少子高齢社会の中においても市民の生き方、働き方の多様化に対応できる地域づくりをすすめるとともに、オール北九州で健康寿命の延伸に取り組むこと。

2 健全で持続可能な財政運営・しごと改革の推進について

全ての事業について、事業の必要性や行政課題の解決に結びつく具体的な成果、費用対効果の視点を踏まえ、絶えずその内容を精査するとともに、「北九州市行財政改革大綱」に基づく業務の見直しなど、歳入・歳出両面にわたる収支改善の取組を継続するとともに、その取組内容を踏まえた予算編成を行う。

真に必要な公共施設を将来にわたって持続的に維持していくため、「北九州市公共施設マネジメント実行計画」に基づき、施設の廃止や集約、複合化や多機能化、更新時の規模の見直し等の取組を推進する。

3 国の制度変更等への適切な対応について

本年 10 月から実施された消費税率の引上げにあたり、国において、消費税引上げ前後の需要変動を平準化するための取組が行われており、令和 2 年度予算においても、最新の経済状況等を踏まえた適切な規模の臨時・特別の措置を講ずるとされている。本市においても、その動向に留意し、適切な対応を図る。

4 自主的な事業見直しの推進について

投資的経費について、自主的な事業見直しに加え、公債費負担などの観点から市全体で総額を調整する。また、行政経費については、各局室が継続事業において自主的に見直しを行った額に応じて、新規・拡充等にかかる予算要求を行う。

Ⅱ 令和2年度予算要求状況の概括

令和2年度予算要求の規模

令和2年度予算要求の規模は、一般会計5,981億円、特別会計4,281億円、企業会計2,141億円であり、総額では1兆2,403億円となっています。

《全会計の予算規模》

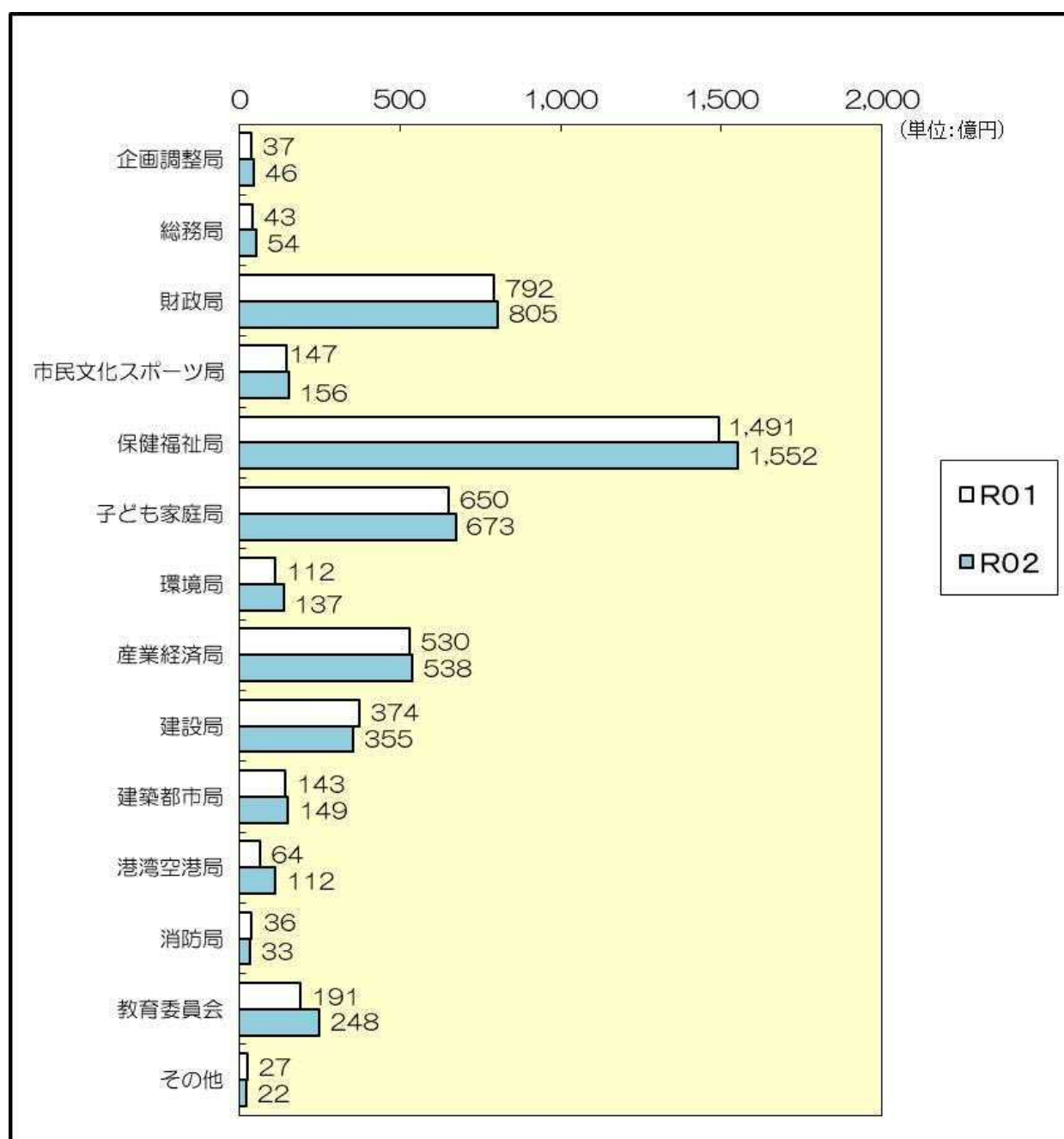
(単位：百万円、%)

	令和2年度 要 求 額 (A)	令和元年度 予 算 額 (B)	増 減 (A-B)	
			金 額	伸 率
一 般 会 計	598,148	574,391	23,757	4.1
特 別 会 計	428,064	412,575	15,489	3.8
企 業 会 計	214,069	192,241	21,828	11.4
合 計	1,240,281	1,179,207	61,074	5.2

《令和2年度予算要求状況（一般会計）》

一般会計予算の要求規模は5,981億円、前年度予算に比べ238億円の増、率にして4.1%の増となっています。

【局別の要求状況】



《令和2年度予算要求状況（特別会計）》

（単位：百万円）

特 別 会 計	令和2年度 要 求 額 (A)	令和元年度 予 算 額 (B)	増 減 額 (A-B)
国 民 健 康 保 険	101,690	99,786	1,904
食 肉 セ ン タ ー	340	300	40
卸 売 市 場	927	641	286
渡 船	394	379	15
土 地 区 画 整 理	1,685	2,235	▲ 550
土 地 区 画 整 理 事 業 清 算	1	21	▲ 20
港 湾 整 備	5,594	4,942	652
公 債 償 還	180,628	176,603	4,025
住 宅 新 築 資 金 等 貸 付	6	10	▲ 4
土 地 取 得	5,306	3,821	1,485
駐 車 場	339	404	▲ 65
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金	594	492	102
産 業 用 地 整 備	1,214	716	498
漁 業 集 落 排 水	47	38	9
介 護 保 険	107,414	100,497	6,917
空 港 関 連 用 地 整 備	7	7	0
学 術 研 究 都 市 土 地 区 画 整 理	798	1,304	▲ 506
臨 海 部 産 業 用 地 貸 付	427	431	▲ 4
後 期 高 齢 者 医 療	16,985	16,690	295
市 民 太 陽 光 発 電 所	100	88	12
市 立 病 院 機 構 病 院 事 業 債 管 理	3,568	3,170	398
合 計	428,064	412,575	15,489

《令和2年度予算要求状況（企業会計）》

（単位：百万円）

企 業 会 計	令和2年度 要 求 額 (A)	令和元年度 予 算 額 (B)	増 減 額 (A-B)
上 水 道 事 業	34,226	34,771	▲ 545
工 業 用 水 道 事 業	2,767	2,772	▲ 5
交 通 事 業	2,232	2,664	▲ 432
病 院 事 業	873	847	26
下 水 道 事 業	51,598	52,535	▲ 937
公 営 競 技 事 業	122,373	98,652	23,721
合 計	214,069	192,241	21,828

Ⅲ 公開内容に関する問い合わせ先について

予算要求状況の公開に関する制度の問い合わせにつきましては、財政局財政課（Tel582-2002）にお願いします。

なお、個別事業の要求内容については、担当局にお問い合わせください。

各局の問い合わせ先は下記のとおりです。

担当局室	課名	電話番号	担当局室	課名	電話番号
会計室	—	582-2514	産業経済局	総務課	582-2190
危機管理室	—	582-2110	建設局	総務課	582-2465
秘書室	—	582-2127	建築都市局	総務課	582-2523
広報室	広報課	582-2236	港湾空港局	総務課	321-5916
技術監理局	技術企画課	582-2043	消防局	総務課	582-3802
企画調整局	企画課	582-2158	上下水道局	経営企画課	582-3137
総務局	総務課	582-2102	交通局	総務経営課	771-8401
財政局	財政課	582-2002	公営競技局	総務課	791-5010
市民文化 スポーツ局	総務区政課	582-2155	市議会事務局	総務課	582-2621
保健福祉局	総務課	582-2403	教育委員会	総務課	582-2352
子ども家庭局	総務企画課	582-2280	行政委員会 事務局	総務課	582-3090
環境局	総務課	582-2173			

問い合わせ先

財政局財政課 担当 鍋藤、木下

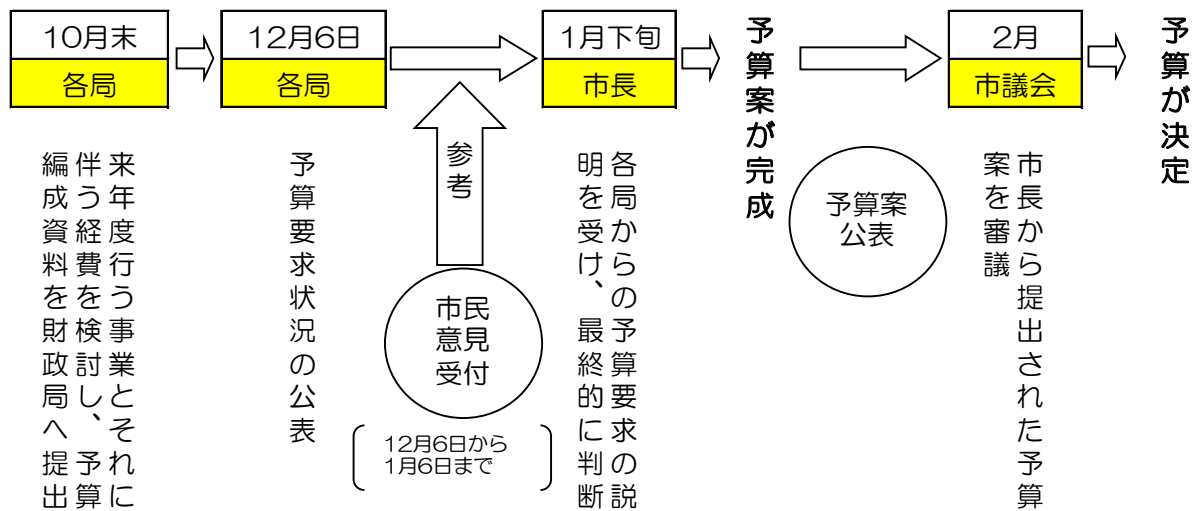
（ Tel 582-2002 ）

IV 市民意見の受付について

令和元年12月6日（金）から令和2年1月6日（月）まで、市民意見を受け付けます。

提出された市民からのご意見・ご要望については、予算編成の参考とさせていただき、2月下旬頃、予算案を公表予定です。

【スケジュール（予定）】



意見受付要領

公表した予算要求状況に対する市民のみなさまのご意見を受け付けます。

① 意見受付期間

令和元年12月6日（金）から令和2年1月6日（月）まで

② 閲覧場所

- ・ 財政局財政課（市役所6階）
- ・ ホームページ
- ・ 広報室広聴課（市役所1階）
- ・ 各区役所総務企画課
- ・ 各出張所

- ① 北九州市ホームページ（www.city.kitakyushu.lg.jp）
- ② 「市政情報」をクリック
- ③ 「財政状況・行財政改革」の下にある「市の財政状況」をクリック
- ④ 「予算・決算情報」をクリック
- ⑤ 「予算編成過程の公開について」をクリック→令和2年度

③ 意見の提出方法

（1）電子メール

電子メール・アドレス（zai-zaisei@city.kitakyushu.lg.jp）

（2）郵送

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

北九州市財政局財政課

（3）ファクシミリ

FAX 093-582-2070 北九州市財政局財政課

（4）指定場所への持参

- ・ 財政局財政課（市役所6階）
- ・ 各区役所総務企画課
- ・ 広報室広聴課（市役所1階）
- ・ 各出張所

④ 意見提出書様式

様式は自由ですが、住所、氏名の記入をお願いします。

⑤ 意見提出に関する問い合わせ先

北九州市財政局財政課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

TEL 093-582-2002、FAX 093-582-2070

電子メール・アドレス（zai-zaisei@city.kitakyushu.lg.jp）